

資料2 子ども・子育て支援事業計画に基づく確保方策の見通しについて

1 教育・保育施設における確保方策の見通しについて

《表の見方について》

項目	内容
量の見込み	保育所や幼稚園等への入所を希望するニーズ量の見込み
計画の目標値	量の見込みに対し確保する受入枠の目標値
受入実績（見込）	受け入れた園児数の実績（見込）
受入実績－目標値	受け入れた園児数が目標を上回った場合＋、下回った場合－
超過受入人数	定員を超えて受け入れた園児数。受入実績（見込）－定員

2 認定区分別の現状及び見込みについて

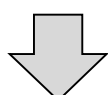
《受入実績－目標値がマイナスとなる区分と要因》

区分	要因
1号（3～5歳児）	<p>実態のニーズ量が量の見込みを下回ったため。</p> <p>※受入枠には余裕あり。</p>
3号（0歳児）	<p>各施設での保育士が不足しており、安全面から大幅に定員を上回る受入ができないため。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>《参考》 保育士1人が保育できる子どもの数</p> <p>0歳児 : 3人</p> <p>1・2歳児 : 6人</p> <p>3歳児 : 20人</p> <p>4・5歳児 : 30人</p> </div>

3 年齢児ごとの推移について

年齢区分	人口	入所希望者数	受入実績
0歳児	減少傾向	増加傾向	増加傾向
1・2歳児	減少傾向	増加傾向	増加傾向

人口減少に反し、入所希望者は増加



※令和2年度の入所希望者数は1月時点であり、3月時点では0歳児、1・2歳児共に令和元年度を上回る見込み

主な要因 ⇒ 平成29年度に開始された0～2歳児の保育料一部無償化（道政策）
など

4 第2期子ども・子育て支援事業計画の目標を達成するための方策について

《ハード面での対策》

施設区分	令和3年度実績	令和6年度計画	増加予定数
小規模保育施設	11施設	15施設	+4施設
認定こども園	16施設	18施設	+2施設

《ソフト面での対策》

年齢区分	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
0歳児	量の見込み	393人	383人	375人	366人	令和3年度より定員の15%超で受入予定
	確保方策（計画値）	279人	310人	344人	372人	
	確保方策-量の見込み	△114人	△73人	△31人	6人	
1・2歳児	量の見込み	819人	801人	780人	761人	超過受入をせず対応できる見込み
	確保方策（計画値）	796人	809人	822人	848人	
	確保方策-量の見込み	△23人	8人	42人	87人	



0歳児 ⇒ 令和6年度に目標とする受入枠を確保

1・2歳児 ⇒ 令和4年度に目標とする受入枠を確保